

(1)



第4回定期総会開催

平成30年度

碓氷峠浪漫俱樂部

発行責任者
萩原豊彦
編集責任者
根岸 武

究会第4回定期総会が、4月22日安中市役所松井田庁舎で委任状含め54名が出席し開催されました。萩原豊彦理事長の挨拶では、まず、当会の発足当时を振り返り、「碓氷峠を愛する人たちで作ったNPOも4年目を迎えることが出来た。素人の集団ではあるが、これらも本会以外で頑張っている多くの個人・団体との交流を深めていきたい。」と本会の方向性を示した後、昨年度の活動の中心であつた熊ノ平以西の鉄道文化財遺産調査について、「文化遺産追加指定に向けた調査・報告作業を終えた。この過程で得られた知見は会員だけでなく、広く市民の皆さんにお知らせしたい。」と発言がありました。

記念講演会



平成26年10月23日の仮称碓冰線研究会第一回設立準備会で選任された11人の委員によつて、11月12日の検討委員会で、新設するNPOの名称が「碓冰峠歴史文化遺産研究会」と決まつた。が、次候補に上がつた「碓冰峠浪漫俱楽部」も捨てがたく、会の愛称として用いることになつたのが印象に残る。

翌27年2月1日の設立総会で私は議長を務め、さらに監事を仰せ付かつたものの、高齢のゆえこの6月で辞任させて頂いた。

今後は、全国から年間2万人余の来訪者があり

ながら、劣悪な保存状態にある碓氷関所跡を補完する作業に専念することで、浪漫俱楽部の活動の一端を担つてまいります。お世話になりました。

1940年長野県軽井沢生まれ。中学時代、物を作ることが好きで、電気機関車を手作りして走らせました。そんな事もあって、国鉄横川機関区に就職、3年半後に待望のED42に乗務する事ができました。走行した後には動輪の発熱状態を手でさわり確認したものであります。鉄道文化むらに保存してある1号機にも相当手を触れたと思います。

愛着あるED42や碓氷峠の想いは忘れることが出来ず、現在も文化財インストラクターをやつています。

大切な鉄道施設を多くの人に知つてもらうために、頑張つてやつてゆきたいと思います。



日時	7月14日(土)
場所	15時(受付14時)
並木苑	安中市原市587-1
参加費	無料
抽選会	14時
※群馬サファリパークの 無料券や半額券その他景 品を用意しています。先 着200名様です。	☎ 027-382-0730



第4回定期総会で、監事として設立当初から長きに渡り会を支えて下さった、佐藤健一さんが退任され、新たに、篠原益雄さんが監事に就任されました。

**重要文化財に指定される
碓氷線を走ったED40形電気機関車**

お知らせ

アブト通信

国 の 文 化 審 議 会 は、 5 定 す る こ と を 文 部 科 学 大
月 18 日 に 開 催 さ れ た 同 審 臣 に 答 申 し ま し た。
議 会 文 化 財 分 科 会 の 審 議 平 成 5 年、 わ が 国 初 の
・ 議 決 を 経 て、 旧 碓 氷 峠 近 代 化 遺 産 と し て 重 文 指
鉄 道 施 設 を 重 文 に 追 加 指 定 さ れ、 今 回 で 三 度 目 の

する過程を示す建築史的にも重要な意味を持つもので、急坂での列車緊急停止のため、盛土切土を用い



国重要文化財に追加指定決定！

旧熊ノ平変電所・第十三「中尾川」橋梁・トンネルなど

重文指定を受けることに
なりました。

追加指定される碓氷線建設当初の煉瓦構造物群（附・書き上げを含む）は、旧熊ノ平駅以西の2基（第七、第十三『中尾川橋梁』）の橋梁と、3基（第十二、第十三、第十四）のカルバート、4所（下り突込み、第十六、第十、七、第十八）の隧道です。この他、コンクリート



このほか、当時の煉瓦造
などの古図面
が国初の鉄道技
術図面及び書
8点が鉄道技
術の発展を示
す貴重な資料
であり、構造
物群と一体的
な価値を有し
総合的な保存
を図るべきも
のとして、追



碓日嶺鉄道碑

鉄道遺産群を愛する会 主催 碓氷峠浪漫倶楽部 共催 「アフトの道 ウォーキング」と シャボン玉飛ばそう大会

がありました。開会式では矢野薰会長、萩原豊彦氏の挨拶、副市長他、多くの来賓の方が見えてくれました。碓氷線インストラクターがコースの案内にたち、峠の湯前をスタートしました。今年は中尾橋等の重要文化財の追加指定もあり、参加者は途中、橋やトンネルの説明を熱心に聞いていました。「めがね橋」の上では、当会主催のシャボン玉飛ばしそう大会が行われました。参加者は橋の上でシャボン玉を受け取り、子ども達はもちろん、おとなの方も童心にかえり橋の上からシャボン玉を飛ばして楽しかったようです。6号トンネルの前



6月3日(日) 今年も
鉄道遺産群を愛する会主
催のウォーキングが、ア
プトの道(峠の湯から熊

では、今年も上原梅弦氏（安中市在住）による、すばらしい三味線の演奏を楽しませてもらいました。トンネルの中では、アキラック氏（当会会員）による珍しい楽器【ハンドパン】の演奏もありました。今年も天候にも恵まれ、参加者は初夏のアブトの道散策を十分に楽しまれたようです。